

留学

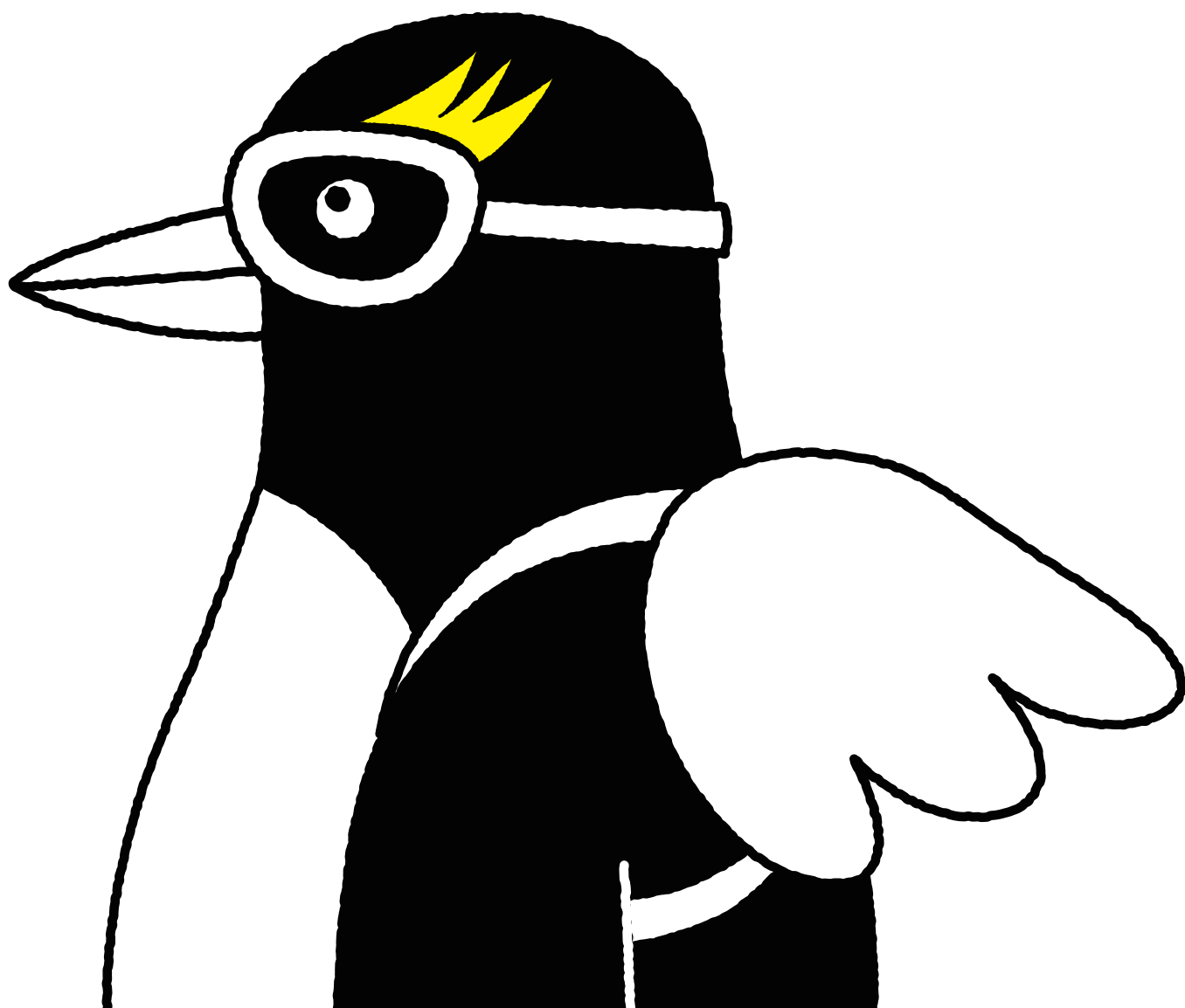
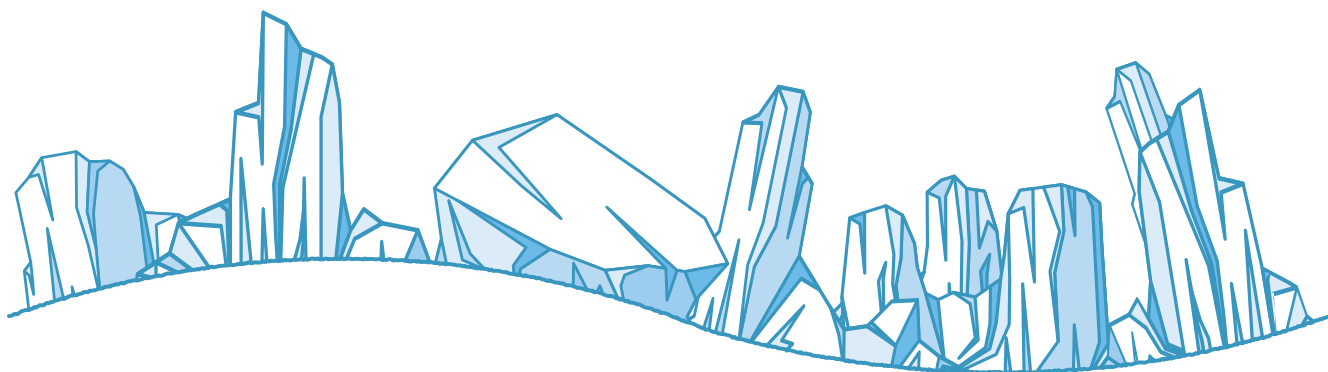
SUAC VOICE

公立大学法人
静岡文化芸術大学

自分を、国境を、今日を

超えよう

どこに行く？ 何をする？ 自分の世界を広げよう



SUAC学部時代に魅せられたバリ島の芸能文化 現地での授業+αの経験を積めた1年間



ガムラン音楽などバリの芸能文化を専門とする梅田教授の下で学んだ学部生時代に、バリ島の芸術大学へ留学しました。大学院に進み、芸能だけでなくインドネシア文化や言語も学びたいと思い、二度目の留学は、SUACの交換留学制度を利用してウダヤナ大学へ。留学前からYouTubeなどで生のインドネシア語に触れるよう心がけ、インドネシア語で行われる授業についていけるようリスニングとスピーキングの訓練に力を入れました。現地での授業はディスカッションや発表を含めたグループワークが中心で、授業時間外に学生だけでカフェに集まり課題を進めることもあり、同世代の学生との交流を通してインドネシアの“今”を感じられたと思います。授業以外では、個人的に師事しているバリ芸能の先生の下でバリ舞踊やガムラン音楽のレッスン。実技を習うだけでなくそれぞれの演目やその背景までも考える機会となり、人に教える練習や衣装の着付けなども学ぶことができました。日本でそれらを教えたり、伝える活動をしたという



将来の夢につながる成長ができました。

森下千裕 ●文化政策研究科2年
 MORISHITA Chihiro

- 留学先 ウダヤナ大学[インドネシア]
- 留学時期 2年次 (8月~翌年9月・1年間)
- 成果 奉納活動としてバリの寺院で舞踊や演奏を披露

能瀬彩花 ●国際文化学科3年
 NOSE Ayaka

- 留学先 ブルゴーニュ大学 [フランス]
- 留学時期 2年次 (5月~翌年1月・9か月)
- 成果 DELF(公式フランス語資格)B1

フェアトレードを学ぶ中でフランス語圏へ留学 帰国後は語学パートナーとして留学生をサポート

高校でフランスへの交換留学を経験し、大学でもう一度留学したいと思っていました。SUACでフェアトレードや国際協力を学んではいますが、開発途上国にはフランス語圏の国が多いことも、留学先の決め手になりました。最初に行われた授業のクラス分けのテストで、基礎クラスに割り振られ時は悔しかったですが、「フランス語をフランス語で学ぶ」ことに慣れることができ、授業内容をきちんと理解して学べたので、結果的にはよかったです。次第にクラスレベルが上がり、帰国前に受けたDELFのテストではB1を取得できました。フランス語力を深めたい理由の一つに、開発途上国の人と通訳を介さず直接つながりたいという思いがありました。SUACに戻った今、フェアトレード活動やその交流を通してフランス語圏の人と関わる機会を見つけないかと考えています。留学中、困った時はたくさんの人が手を差し伸べてくれたように、人の役に立ちたいと考えるようになり、現在はフランスからSUACへの交換留学生の語学パートナーを務めながら、語学力維持にも励む日々です。



開発途上国の人と通訳を介さず
 直接つながりたい



語学パートナー/海外からの留学生と日本人学生が互いの母国語を教え合う本学の制度

念願のイタリア留学で、 本場の芸術に触れる日々。生き方について 考える有意義で密度の濃い経験

自分の感情を
 大切に生きてみる!
 イタリアから教わりました



高校生の時のイタリア旅行がきっかけでイタリアの芸術や街並みに興味を持ち、ボローニャ大学と提携しているSUACへ、留学を視野に入れ進学。芸術文化学科でイタリア語や芸術の分野を学ぶ中で、絵画を学ぶことを目的に留学を決めました。アパートの契約やビザの取得など、大学のサポートもあり安心して準備できました。イタリア人の学生は授業中、わからないことは何回でも質問するなど、勉強に対するモチベーションの高さは、見習いたいと感じました。本物の芸術を目の前に先生の解説を聞き、授業で学んだ芸術作品や大聖堂を実際に観に行くことは、現地で学ぶ意義を感じる密度の濃い体験でした。授業後、パル(カフェ)で友人と話すのも楽しいひととき。一人で机に向かってるよりも、相手に伝えようと話しかけることが日常会話のスキルアップになり、コミュニティも広がりました。ヴェネチアのカーニバルも鑑賞し、華やかな仮装をして楽しむ人々の姿が面白かったです。自分の好きなように生き、人とのつながりを楽しむ様子は、これからの人生のお手本になりそうです。



シェアアパートメントの生活の中で、起床・就寝の時間や掃除の仕方、キッチンの使い方など、相手とどう合わせるかに苦労しました。ただ、気ままなイタリア人の生活に合わせるのも、留学生活の醍醐味だと思い、気負いすぎずに生活しました。



大木泉水 ●芸術文化学科4年
 OKI Izumi

- 留学先 ボローニャ大学[イタリア]
- 留学時期 3年次 (8月~翌年7月・1年間)

留学生と現地学生の間にある壁を取り払う 「架け橋」としての活動が受賞につながった喜び

想像よりも
 ずっとあもしろい
 世界が待ってる!



元々、英語は苦手で興味もありませんでしたが、コロナ禍での英語の勉強をきっかけに「このまま私の大学生生活を終わらせたくない!」という気持ちになり、自分の世界を広げようと交流留学を決意。前期の語学クラスは思いのほか日本人が多く、なかなか現地の学生と交流する機会がありませんでした。そんな日々を変えようと、自分から一歩踏み出し様々なことに挑戦。ボランティア活動やフィンドレー市長へのインタビューなど、たくさんの人に出会い、たくさんの場所に行き、たくさんの学びを得ることができました。留学生が主催するイベントでは、バングラデシュ人の中に日本人の私が飛び込み、企画・運営や当日のMCも担当。日本とバングラデシュ、さらに他国からの留学生や現地の学生をつなぐ架け橋となった活動が評価され「Bridging Cultures Award」を受賞できました。「いつかやろう」と思っているだけでは、その「いつか」はやってきません。「やってみたい」という気持ちがあれば飛び出してみてください。自分の想像よりもずっと面白い世界が待っています。



平野 瞳 ●文化政策学科4年
 HIRANO Hitomi

- 留学先 フィンドレー大学[アメリカ]
- 留学時期 4年次 (8月~翌年5月・9か月)
- 成果 Bridging Cultures Award受賞



自分自身が驚くほどの大きな成長と変化 将来への選択肢やチャンスが広がった

自分でも驚くほどの実践的な英語力が身につきました



篠田 泰成 ●デザイン学科4年
SHINODA Taisei

- 留学先 BESIGN [フランス] コートダジュール大学 サステイナブルデザインスクール
- 留学時期 3年次 (9月～翌年6月・9カ月)
- 成果 留学経験を活かし、志望業界の企業に早期内定



就職活動を意識して「デザイン留学」を決めました。フランス語はほとんど話せませんが、ある程度の英語力があれば不自由なくコミュニケーションできました。BESIGNの授業は、グループワークが基本で多くのプロジェクトに積極的に関わることができます。パートナーシッププログラムの授業では、大学と提携している企業を選び課題に取り組むのですが、私はTOYOTAを選び、グループのディレクターを務め、実際に企業まで出向いて英語でプレゼンテーションを行う有意義な経験ができました。私と同じようなデザイナーの卵たちと切磋琢磨する日々の中で、自分でも驚くほど実践的な英語力が身につく、交友関係も築けました。現地の人と同じ校舎で授業を受け、ご飯を食べ、旅行に行ったり、お酒を飲んだり。言語の違いや習慣の違いなど大変なこともありましたが、それらすべてが私の成長につながったと考えています。帰国後、バイリンガルが推奨される外資系広告代理店のインターシップに参加。就職活動の選択肢も広がった実りある経験を、今後のキャリアに活かしていきたいと思えます。



TOYOTAでのパートナーシッププログラム最終プレゼンテーションの様子



とにかく自分から話す積極性、大事です



塩谷 はな ●国際文化学科3年
SHIOYA Hana

- 留学先 ヴィクトリア大学 [カナダ]
- 留学時期 3年次 (9～10月・1カ月)



ホームステイで現地の暮らしを体験 失敗を恐れず話すことで新しい自分にアップデート

「教科書の英語との違いを知る、異文化に触れる、日常会話レベルで話せるようになる」という目的を持って、念願の海外経験に足を踏み出しました。ホームステイ先での日常会話は英語なので、授業以外でも「英語耳」が鍛えられリスニング力が格段にアップ。帰国直後のTOEICのリスニングのスコアは80点上がりました。スピーキングでは「自分から話そう」という姿勢が身についたことが大きな収穫。ステイ先に同居していたメキシコの留学生にも勇気を出して話しかけることで、徐々に打ち解けられるようになり、上手く話せるかどうかに関わらず、発言してみる大切を実感する機会になりました。帰国後の英語ゼミで、自分から発言する場面が増え、その変化に先生も仲間も驚いたようです。語学のスキルアップだけでなく、自分から話す積極性も身についたと思います。カナダの一般家庭の暮らしや料理も体験でき、かけがえのない1カ月でした。留学のチャンスがあるのなら、気負わずにチャレンジしてみることをオススメします。



メキシコ人留学生とは最初会話がなかったが、積極的に話すことで深夜まで話し込む仲になりました。



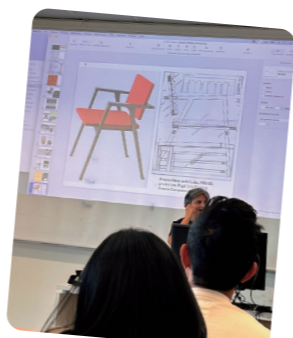
ホームステイ前と後では、自分から英語で話そうとする姿勢は雲泥の差に。

デザイン先進国のイタリアへ留学！ 現地での出会いや体験で“世界”が広がった

教えきれない経験が刺激になりました！



元々留学に興味があり、日本とは違う視点で物事を見られるようになりたいと思い、世界最古といわれるボローニャ大学で開講される「デザインサマースクール」に参加しました。デザインやアートの本場イタリアで学べることも大きな魅力でした。欧州や南米、北米、アジアや中東など世界各国から30名が集まり、授業やメンバー間の会話は基本英語で行われました。座学のほかに、Visit(課外授業)でのランボルギーニなどの企業見学や美術館・博物館の訪問はイタリアならではの体験ができたと思います。プロジェクトワークでは、一つの課題にチームで取り組み、自分と異なるメンバーの考え方に触れ、刺激になりました。自分の英語力不足から、専門的な会話の中で自分の考えを伝えられないもどかしさも痛感。デザインを学んでいく上でも英語は必須になると肌で感じられたのはよかったです。ともに高め合える仲間との出会いや新たな文化や価値の発見など、現地に赴いたからこそできた経験は数えきれないほど！文字通り「世界が広がる」2週間でした。



プロジェクトワーク/グループワークでの課題は「自然から発想し、機能を持った机をデザインする」だった。



Visit/ランボルギーニなどの高級車やセラミック加工の会社など、企業見学に多く行った。

小林 さくら ●デザイン学科2年
KOBAYASHI Sakura

- 留学先 ボローニャ大学 [イタリア]
- 留学時期 2年次 (8～9月・2週間)



デザイナーの後にクラスメイトのみんなと

この他にも、たくさんの先輩たちが留学を体験しています。

- 園原 花織** ●国際文化学科3年 ●アメリカ
素晴らしい経験が待っているので、ぜひ勇気を出して海外に飛び出してください！
- 松岡 美羽** ●国際文化学科3年 ●アメリカ
この留学は私にとって一生忘れられない最高の思い出です！迷ったら行くべきです！
- 桑原 大樹** ●デザイン学科4年 ●アメリカ
留学は、新しいこと盛りだくさん！辛いことも多いですが、絶対に行く価値あり！
- 高橋 光子** ●国際文化学科3年 ●アメリカ
強い信念を持って取り組み、必ず充実した留学生活を送ることができます！目標達成のために頑張ってください！
- 外川内 瑞季** ●国際文化学科4年 ●イタリア
海外でたくさんみて、きいて、食べて、嗅いで、触れて、そのままに感じてください！
- 児島 佑花** ●国際文化学科4年 ●オーストラリア
語学研修では英語に不安があっても海外での生活を十分に楽しむことができます！
- 志賀 彩月** ●文化政策学科3年 ●トルコ
文政だからと留学を迷う必要はありません。ぜひ自分の目で新しい世界を見てください。
- 幸田 穂奈美** ●国際文化学科4年 ●フィリピン
ワクワクする日々と良い出会いが待っている、それが留学。行かないで後悔しないように！
- 北島 未悠** ●国際文化学科2年 ●ブラジル
ブラジルの人々のあたたかさや、日系社会の日本に対する熱い思いに感動しました！
- 松林 萌** ●国際文化学科3年 ●ブラジル
日本文化や社会が、ブラジルでも愛されていることに、嬉しく、誇らしく感じました。
- 酒向 悠斗** ●デザイン学科2年 ●フランス
思い切って留学してみてください！いい経験になると思います！
- 鈴木 梨恵琉** ●デザイン学科4年 ●フランス
夢や目標を叶えるための決定権はいつでも自分にあります。行きたいなら行ってみよう！
- 山崎 澪** ●国際文化学科2年 ●台湾
美味しい食べ物がたくさんあって、きれいな景色も楽しむことができました！
- 杉山 歩乃佳** ●デザイン学科4年 ●中国、アメリカ
英語と中国語を話すのが楽しくなりました！2カ国留学は文化も価値観も異なり、刺激的でした。
- 石山 渚結** ●芸術文化学科2年 ●カナダ
初めての海外でしたが、楽しく有意義な1カ月間を過ごすことができました！
- 寺下 大晴** ●国際文化学科3年 ●イギリス
実際に生活のなかで英語を使うことで、以前よりも英語のハードルが下がりました。
- 安岡 航輝** ●文化政策学科3年 ●イギリス
新しい友達、初めての海外生活、まち歩き、ワクワクが止まらない毎日でした。
- 松永 真帆** ●芸術文化学科4年 ●韓国
現地の学生と授業を受けたことで友達ができ、韓国語も本格的に学ぶことができました。
- 奥山 海** ●国際文化学科4年 ●フランス、韓国、ブラジル、マレーシア
「やってみたい」と思った時に迷わず飛び込んでみて！世界が広がるかも！
- 河田 真奈** ●国際文化学科4年 ●マルタ、デンマーク
今思えば、留学は世界中の友達に囲まれて夢のような毎日でした。行ってよかったって、心から思えます。



みんな、世界が広がったんだね、ボクもがんばるぞ！



ペンギンは
飛べないものと思っていました。
でも、飛んでみたら、
ちゃんと、飛べました。



公立大学法人

静岡文化芸術大学

SHIZUOKA UNIVERSITY OF ART AND CULTURE

Faculty of Cultural Policy and Management/Faculty of Design

<https://www.suac.ac.jp/>

さらに詳しく知りたい方は Web サイトに



留学



留学近況レポート



留学体験談

留学体験談
は動画で話して
くれるよ!

